



国連 SDGs（持続可能な開発目標）を実現する地域と食文化を目指して
「持続可能な地域資源と日本の食文化の発展」を学ぶ
イタリア食科学大学の日本研修が実施されます

報道関係各位

イタリアを拠点とする Genuine Education Network 社（ミラノ市）と株式会社 GEN Japan（東京都千代田区麹町）は世界 80 カ国から学生が集まり食文化を学ぶ、国際的な総合大学機関であるイタリア食科学大学（正式名称 University of Gastronomic Sciences）の日本公式パートナーとして、日本における研修プログラムを共催しています。今回はイタリア、イスラエル、スイスの学生 15 名が参加して日本の食文化研修が実施されます。

イタリア食科学大学は、山形県鶴岡市との 2016 年 12 月の協定をきっかけに、過去に 3 回日本での研修を実施していますが、鶴岡市と三重県をつないだ研修は今回初めてとなります。UNESCO 食文化創造都市に認定されている鶴岡市では羽黒山を中心に在来野菜や精進料理、庄内浜の水産資源管理などを学びます。三重県では伊勢神宮を中心とした御食国としての歴史を持つ志摩市・鳥羽の答志島、明和町を中心に、神人共食の食文化の精神と海産物を中心に学びます。

日本の重要な食文化の二大聖地を訪れ、地域に長く根差した持続可能な食を育む環境や食の生産の現場を、地域の自治体、生産者、漁業者、若手人材と交流しながら学び、伊勢志摩サミットでも重要なテーマとなった国連の 2030 年までのアジェンダ「持続可能な開発目標（SDGs）」を、より具体的にグローバル・ローカル両方の視点から取り組む施策の一環です。本研修をきっかけに鶴岡・三重県での研修は今後も継続して行い、地域の食文化振興へより広域連携で国際的に取り組んで参ります。

具体的な研修テーマ

共催：



持続可能な里海

在来作物と調理

発酵

出汁

神饌



日程	プログラム	共催・協力
1/29 東京	マルハニチロ社訪問、博報堂社食訪問	
1/30 東京－鶴岡市	築地市場－鶴岡移動－日本酒と米の講義	鶴岡市
1/31-2/2 鶴岡市	Foodever、羽黒山斎館、漬物本長、栽培漁業センター、加茂水族館、たちばなや会席料理、蕎麦など	鶴岡市
2/3 津－伊勢市	辻岡醸造訪問（津）－伊勢市 宿泊	三重県庁
2/4 伊勢神宮－明和町	7:30～外宮前せきや朝食、外宮参拝、おかげ横丁散策、斎宮訪問、明和町歓迎式典、明和町ホームステイ	明和町 皇學館大学
2/5 志摩市	志摩観光ホテル特別講義－三重外湾漁業共同組合－志摩市市民の皆様との交流会	志摩市
2/6 鳥羽 答志島	かつお節まるてん－答志島－美多羅志神－海苔生産所－レイフィールドまでのハイキング－漁師さんとの交流会－夕食ロンク食堂	志摩市 鳥羽商工会議所
2/7 鳥羽－津	わかめ水揚げ視察、海女さんとの対話、鳥羽なかまち散策、津にて送別夕食会	鳥羽商工会議所 鳥羽なかまち
2/8 帰国	成田空港より帰国	

<本件に関するお問い合わせ> 株式会社 GEN Japan info@gen.education 三好